



優秀賞 (エクステリア部門)

リフォーム前後の写真

タイトル

歩きやすい庭なら散策も外出も楽しい

タイプ

持家一戸建

講評

インテリアとしても人気の高いロートアイアンの手すりを設置したことで、ぐんとしゃれた庭になった。目的はバリアフリーだが、その目的が二の次に思えるような仕上がりは、設計者が施主の意向をよく汲んだためだろう。



上：ア・下：イ 一人が歩くので精一杯の幅



①安心が楽しさを生む



②植木の移動も石段の増設も庭の雰囲気を重視
それでもバリアフリー

③滑らず握りやすい手摺

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

門から石段を何段か上がったところに玄関がある。長い年月この家で暮らしてきた母親は、何度か脳梗塞で倒れたため、足元が不安定になっている。外出時、玄関から門まで歩くには手摺や介護が必要になってきた。かといって、草花を季節ごとに植え替えるなど、母親も家族も大事にしてきた庭を壊してスロープにするのは忍びない。しかも石段は気に入っているのでそのままに、手摺で庭の雰囲気を壊したくないなどのご要望だった。そこで石段の段差（蹴上）を歩きやすいように調整し、石段の面は滑りにくいように勾配を整え、介助の人が付き添って歩けるように幅を広

げた。
手摺は庭の草木の雰囲気に溶け込むように。有機的な形がつくれる鉄にして、エッジを面取りして母親が握りやすいようにした。鉄の手摺の素材感は緑との相性もよく、オブジェのように見えるし、何よりも外出や庭の散策の回数が増え、以前より楽しみになったと喜ばれている。

特に配慮した住宅性能：鉄という素材を庭という湿度の高いところに使用するため、錆の問題が起こる可能性がある。そこでメンテナンスを考え、溶融亜鉛処理を施し、対処した。

データ

所在地	神奈川県川崎市	構造/築後年数	一造/	25年
該当工事面積	15 m ² /総工事床面積	9 m ²	該当部分工事費	70 万円/総工事費
居住者構成	15歳以上65歳未満： 2 人/65歳以上： 1 人/15歳未満： 人/ペット：			
設計者	エス・オウ設計事務所 (SO PONTE)	担当者	寺林 成子	
施工者	(株)アナップ	担当者	青田 勝久	

リフォーム前

リフォーム後

